

2020年9月27日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第63巻第25号(通算3202号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

# 週報

教会標語

神様が創られたすべての命を大切に  
する教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、  
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙5:5)

## 聖霊降臨節 第18主日礼拝

《**新型コロナウイルスの感染防止に留意しながら礼拝を行います。**インターネット中継をしておりますので、ご自宅でも共に礼拝をして頂けます》

前奏 黙祷

招きの詞 コリントの信徒への手紙II

6章 16節

賛美歌 1954年版-492番「神の恵みはいと高し」(©著作権消滅)

聖書 エフェソの信徒への手紙

3章 14-21節

お祈り

賛美歌 讃美歌21-201番「天使のことばも」(©JASRAC)

メッセージ 「残りものにも福がある」

牛田 匡 牧師

賛美歌 新生讃美歌-363番「キリスト教会の主よ」(©日本バプテスト連盟)

主の祈り (2頁をご参照ください)

誕生者祝福式 (\*)

牛田 匡 牧師

献げ物 (\*\*)

派遣 91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福

牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (40-6番) (©教団讃美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《礼拝は自由席です。おとなりの方との間隔をあけて、席にお座りになった  
ままで礼拝にご参加ください》

\* みんなで9月生まれの方(と今年度9月までにお生まれの方)を祝福いたします。  
ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

\*\* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 <sup>ことば</sup> コリントの信徒への手紙Ⅱ 6章 16節

<sup>16</sup> 私たちは生ける神の神殿なのです。神がこう言われているとおりです。

「私は彼らの間に住み、巡り歩く。

私は彼らの神となり、彼らは私の民となる」

(出エジプト記 29：45、レビ記 26：11-12)

聖書 エフェソの信徒への手紙 3章 14-21節

<sup>14-15</sup> このようなわけで、私は、天と地にあって <sup>a</sup>家族と呼ばれているあらゆるものの源である <sup>b</sup>御父 <sup>おんちち</sup>の前に、<sup>ひざ</sup>膝をかがめて祈ります。<sup>16</sup> どうか、御父 <sup>おんちち</sup>が、その豊かな栄光に従い、その霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強めてくださいますように。<sup>17</sup> あなたがたの信仰によって、キリストがあなたがたの心の内に住んでくださいますように。あなたがたが愛に根ざし、愛に基づく者となることによって、<sup>18</sup> すべての聖なる者たちと共に、キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどのものかを悟り、<sup>19</sup> 人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができ、神の満ち溢れるものすべてに向かって満たされますように。

<sup>20</sup> 私たちの内に働く力によって、私たちが願い、考えることすべてをはるかに超えてかなえることのできる方に、<sup>21</sup> 教会により、また、キリスト・イエスによって、栄光が世々にわたって、とこしえにありますように、アーメン。

(脚注 a：七十人訳ギリシア語聖書では「パトリア」、b：同左「パテル」)

主の祈り <sup>しゅ いの</sup> (日本聖公会・カトリック教会共同訳)

<sup>てん</sup>天におられる <sup>わたし</sup>私 <sup>ちち</sup>たちの父よ、<sup>な</sup>み名が <sup>せい</sup>聖とされますように。

<sup>くに</sup>み国が <sup>き</sup>来ますように。

<sup>てん</sup>みこころが <sup>おこな</sup>天に <sup>とお</sup>行われる <sup>ち</sup>通り、<sup>おこな</sup>地にも <sup>おこな</sup>行われますように。

<sup>わたし</sup>私 <sup>ひ</sup>たちの <sup>かて</sup>日ごとの <sup>きょう</sup>糧を、<sup>あた</sup>今日もお与えください。

<sup>わたし</sup>私 <sup>つみ</sup>たちの <sup>わたし</sup>罪をおゆるしください。私 <sup>ひと</sup>たちも <sup>ひと</sup>人をゆるします。

<sup>わたし</sup>私 <sup>ゆうわく</sup>たちを <sup>あく</sup>誘惑におちいらせず、<sup>すく</sup>悪からお救いください。

<sup>くに</sup>国と <sup>ちから</sup>力と <sup>えいこう</sup>栄光は、<sup>えいえん</sup>永遠にあなたのものです。

アーメン。

《先週のメッセージより》9月20日 敬老の日（聖霊降臨節第17主日）礼拝  
メッセージ「あくのじゅうじか」より

水谷 憲 牧師

聖書：ヨハネによる福音書 10章1 - 6節

昔、友人の牧師から聞いた話。教会学校の分級で、2チームに分かれて絵による伝言ゲームをした。両チームの先頭に与えられたお題は「イエス・キリスト」。その結果、一方のチームの最後の人の答えは「ひげの生えたおじさん」だったが、もう一方のチームの最後の人は「イエス様」と答えることができたという。分かれ目は十字架だった。男が十字架にはり付けにされていたのか、十字架を担いでいたのか、隣に十字架が描いてあっただけなのか……。いずれにせよ「おじさん」と一緒に十字架が描かれていることによって、みんな「この人はイエス様だ」と分かったのだろう。この話は、私たちにとっても意味深いのではないか。あの十字架の出来事がなければイエスはキリストたり得ず、福音書も単なる偉人伝にとどまり、私たちの魂を救い解放し、復活への希望に導くキリスト教はなかった。私たちのキリスト信仰も十字架を抜きには語れないはずなのだ。

「はっきり言うておく。羊の囲いに入るのに、門を通らないで他の所を乗り越えてくる者は、盗人であり、強盗である」。現在は宗教も多様化し、キリスト教も色々だが、中にはキリスト教を自称しつつも実質的には全く別物の宗教もある。門を通過してきたかどうかの基準は十字架だ。私たちのために命を捨てて十字架についてくださったのは、他でもないナザレのイエスのみ。キリスト教を自称しながら、自分たちの教祖の教えを広め、信者を獲得しようとするのは、まさに盗人だ。信者を金集め・信者集めのための道具とし、無理に財産を献げさせたり借金してでも献金させたり、そんなもの私たちを大切な1人として愛してくださる神様のなされることでは決してない。

羊の囲いの門には門番がいる。彼は誰にでも門を開いてくれるわけではない。門番に門を開けてもらい中に入るためには、十字架が必要なのだ。門が「あくの」には「じゅうじか」がいるのだ。私たちは羊飼いの声を注意深く聞き分けなければならない。その声が本当に羊飼いのものなのか、その者が十字架のキリストをちゃんと語っているのか、しっかりと見極めなければ。もちろん、多くの宗教はまっとうな教えを持つ。しかし私たちは、キリストに従う者として「キリストでないもの」と「私たちのキリスト」とははっきりと区別してゆきたい。

私たちのキリストへの信仰の中には、十字架が入っているだろうか。なぜ自分がイエス様を慕っているのかというと、それはやはりイエス様がこの私のために十字架について下さった、それほどまでにこの私を大切にしてくださったからではないのか。そこを私たちは、いつも覚えておきたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook

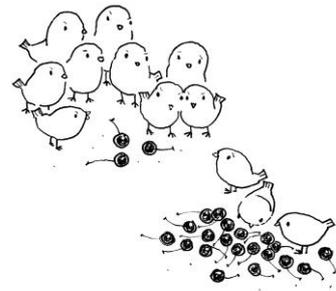


LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (9月20日)

礼拝出席 大人6名 献金 7,000円 感謝



◎次週 2020年10月4日(日)

世界聖餐日(聖霊降臨節第19主日)礼拝

招きの詞 詩編 139編 1,5節

聖書 ヨハネによる福音書 10章 31-42節

メッセージ「言葉ではなく、生きざまに信頼する」 牛田匡牧師

賛美歌 74番(©JASRAC) 81番(©JASRAC) 524番(著作権消滅)

礼拝はインターネットで中継配信いたします。なお礼拝の中で、ユーカリスト(聖餐)を行う予定です。また礼拝後には、10月期の「教会を考える会(役員会)」を行う予定です。役員ではない方も陪席自由ですので、教会についてご一緒に考えてくださる方はどうぞご出席ください。

◎お知らせ

- ・本日礼拝の後に、釜ヶ崎・いこい食堂支援のための「おにぎり作り」を行います。(新型コロナウイルス感染予防のために、これまでおにぎり作りを行っていた特別養護老人ホーム「大阪好意の庭」では、外来者の立ち入りを制限しておりますので、先月に引き続き今月も久宝教会にて行います)
- ・新型コロナウイルス感染予防のため、教会では引き続き、朝の検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。また教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加くださいますように、ご検討ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載いたしますので、そこからダウンロードして頂くことができますし、ご希望の方にはそれらをご自宅までお届けいたします。必要な方には、教会の『聖書』と『讃美歌』を貸し出しいたしますので、お申し出ください。
- ・また礼拝の録画保存は現在行っておりませんが、録画保存されたものを礼拝時間とは別の時間に視聴したいというご希望がおありの方は、牧師までご連絡を頂ければ、次回の「教会を考える会」の議題として検討させていただきます。今後も、感染状況の変化に伴う礼拝の持ち方など最新のお知らせについては、教会のホームページ、Facebook、LINE公式アカウントなどで、お知らせいたします。

◎ 次週以降の行事予定・礼拝奉仕者

	会場	メッセージ	行事
10/4	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	世界聖餐日(ユーカリスト) 教会を考える会
10/11		牛田牧師	(神学校日) 聖書を読む会
10/18		水谷牧師	
10/25	(未定)	牛田牧師	誕生者祝福式 おにぎり支援

